

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月9日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9758 URL http://www.japan-systems.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 正坦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 村中 達郎 TEL 03-5309-0300
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,692	0.8	141	△38.9	166	△31.8	87	△63.3
24年12月期第2四半期	3,664	△4.9	231	△21.6	243	△24.4	238	△4.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	3.37	—
24年12月期第2四半期	9.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	4,876	3,615	74.1	138.86
24年12月期	4,728	3,565	75.4	136.93

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 3,615百万円 24年12月期 3,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年12月期	—	0.00			
25年12月期（予想）			—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	9.3	620	31.4	620	27.7	570	21.1	21.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	26,051,832株	24年12月期	26,051,832株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	13,872株	24年12月期	13,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	26,037,960株	24年12月期2Q	26,038,146株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策及び金融政策への期待から為替相場が円安に転じ、輸出企業を中心に収益改善の期待から株価は上昇し、国内経済は回復の兆しが見られました。その一方で、欧州の債務危機問題の長期化をはじめとした海外経済環境の不安定要素などを背景に、先行き不透明感を完全に払拭しきれない状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、クラウド・コンピューティングや企業におけるモバイル/タブレット端末市場等に案件増加の傾向がありつつも、保守・運用コスト等の削減要請が依然として続く等、投資に対する慎重な姿勢を保つ状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、2016年度までに、ITサービス企業ランキング150傑に入ることを目指すべく、「お客様の新たな価値を創造し提供し続ける」及び「売上高の倍化を図る」という新ビジョンを打ち出し、「Reach for 150」をスローガンに掲げました。当事業年度は、今までの既存概念を打破するために活動テーマを「脱・・から進化へ」とし、「蓄えてきた自律自走の力を発露させる年」と定め、社員一人一人が実行レベルまで落とし込んだ戦略・施策に取り組んでおります。

また、さらなる生産性、収益性の向上をめざし人事給与制度を改定すると共に、事業構造改革を開始いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は3,692百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。また営業利益は141百万円（前年同四半期比38.9%減）、経常利益は166百万円（前年同四半期比31.8%減）、四半期純利益は、事業構造改善引当金繰入額を特別損失として61百万円計上したこと等から、87百万円（前年同四半期比63.3%減）となりました。

サービス品目別の売上高は次のとおりであります。

①アプリケーションソフトウェア開発

アプリケーションソフトウェア開発は、主に官公庁、金融業、通信、公益、製造、流通及び官公庁などの業務ソフトウェア開発が中心であります。当第2四半期累計期間におきましては、売上高は2,788百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

②パッケージソフトウェア開発

パッケージソフトウェア開発は、主に自治体を中心とする行政経営支援サービス（FAST）及びPCセキュリティ/アクセス管理ソリューション（ARCACLAVISシリーズ）中心であります。当第2四半期累計期間におきましては、売上高は517百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

③コンピュータ機器等販売

コンピュータ機器等販売は、主に自治体及び一般企業を取引先として、コンピュータ機器とその周辺機器やネットワーク製品を中心とした販売が中心であります。当第2四半期累計期間におきましては、売上高は387百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末において、総資産は4,876百万円となり、前事業年度末と比べ147百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したこと等により8百万円増加し2,665百万円となりました。また、固定資産は、無形固定資産が増加したこと等により139百万円増加し2,210百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、支払手形及び買掛金や事業構造改善引当金が増加した一方で、預り金が減少したこと等により前事業年度末と比べ97百万円増加し1,260百万円となりました。

また、純資産は、四半期純利益が発生したことや前事業年度の期末配当金を支出したこと等により50百万円増加し3,615百万円となり、自己資本比率は74.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,001百万円となり、前事業年度末の1,259百万円より257百万円の減少となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益104百万円、減価償却費65百万円、仕入債務の増加額97百万円等の増加要因があった一方で、売上債権の増加額131百万円、未収入金の増加額108百万円、たな卸資産の増加額202百万円、預り金の減少額75百万円等の減少要因があったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは192百万円の支出(前年同四半期は511百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

無形固定資産の取得による支出10百万円、投資有価証券の取得による支出3百万円等があった一方で、敷金及び保証金の回収による収入2百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは14百万円の支出(前年同四半期は2百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額50百万円により、財務活動によるキャッシュ・フローは50百万円の支出(前年同四半期は60百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成25年2月15日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,791	1,001,998
受取手形及び売掛金	1,020,277	1,152,229
商品	18,031	81,568
仕掛品	136,778	101,924
その他	237,129	342,887
貸倒引当金	△14,689	△15,170
流動資産合計	2,657,318	2,665,438
固定資産		
有形固定資産	141,094	123,665
無形固定資産	341,667	480,058
投資その他の資産		
長期預金	1,200,000	1,200,000
その他	388,665	407,004
投資その他の資産合計	1,588,665	1,607,004
固定資産合計	2,071,427	2,210,728
資産合計	4,728,746	4,876,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,645	347,293
短期借入金	150,000	150,000
未払金	260,842	264,614
未払法人税等	20,498	27,952
前受金	133,341	124,291
預り金	228,418	152,653
賞与引当金	56,008	46,716
受注損失引当金	—	758
事業構造改善引当金	—	61,448
その他	4,478	22,594
流動負債合計	1,103,233	1,198,322
固定負債		
長期未払金	214	214
資産除去債務	57,156	57,610
その他	2,767	4,368
固定負債合計	60,138	62,193
負債合計	1,163,372	1,260,516

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,302,591	1,302,591
資本剰余金	1,883,737	1,883,737
利益剰余金	409,330	444,952
自己株式	△3,707	△3,707
株主資本合計	3,591,951	3,627,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,577	△11,923
評価・換算差額等合計	△26,577	△11,923
純資産合計	3,565,374	3,615,650
負債純資産合計	4,728,746	4,876,166

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,664,719	3,692,959
売上原価	2,726,728	2,799,230
売上総利益	937,990	893,728
販売費及び一般管理費	706,336	752,300
営業利益	231,654	141,428
営業外収益		
受取利息	1,126	778
受取配当金	8,369	8,120
助成金収入	2,888	10,111
貸倒引当金戻入額	—	6,000
その他	1,760	1,060
営業外収益合計	14,144	26,070
営業外費用		
支払利息	1,343	1,105
その他	629	167
営業外費用合計	1,973	1,273
経常利益	243,826	166,225
特別損失		
固定資産除却損	168	—
事業構造改善引当金繰入額	—	61,448
特別損失合計	168	61,448
税引前四半期純利益	243,657	104,776
法人税、住民税及び事業税	4,969	17,078
法人税等合計	4,969	17,078
四半期純利益	238,688	87,698

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	243,657	104,776
減価償却費	81,038	65,713
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△640	△9,292
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△539	△5,519
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	274	758
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	—	61,448
受取利息及び受取配当金	△9,496	△8,898
支払利息	1,343	1,105
固定資産除却損	168	—
売上債権の増減額 (△は増加)	279,679	△131,951
未収入金の増減額 (△は増加)	△5,003	△108,181
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△93,594	△202,625
仕入債務の増減額 (△は減少)	604	97,648
未払金の増減額 (△は減少)	4,895	2,620
預り金の増減額 (△は減少)	35,323	△75,764
その他	△24,251	17,674
小計	513,460	△190,486
利息及び配当金の受取額	9,490	9,026
利息の支払額	△1,534	△1,200
法人税等の支払額	△9,856	△9,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	511,560	△192,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,670	△2,007
無形固定資産の取得による支出	△6,143	△10,271
投資有価証券の取得による支出	△3,581	△3,004
敷金及び保証金の差入による支出	△2,014	△1,973
敷金及び保証金の回収による収入	12,756	2,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,652	△14,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△60,000	—
配当金の支払額	—	△50,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,000	△50,933
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	448,907	△257,793
現金及び現金同等物の期首残高	1,489,739	1,259,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,938,647	1,001,998

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、情報サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。